

オーストラリア・ウーロンゴン大学

留学報告書

学部学科・研究科専攻	政治経済学部政治学科		留学時学年	2
留 学 先	国	オーストラリア	大学/機関	ウーロンゴン大学
期 間	2026 年 08 月 15日 ~ 2026 年 09 月 13日			
	☒ 短期 ・ 中期 ・ 長期 ※○で囲んでください。		計 1 ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数：60 時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：English

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時~13時	○	○	○	○	○	○	Free
8:30 ~ 12:30	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等
 クラスは、約 18 名で構成され、日本人のみのクラスであった。
 担当教員は、曜日によって異なっていた。
 授業形態としては、自己紹介から始まり、オーストラリアの文化や動植物、先住民族について学び、最終的には、文法やディスカッションを行った。必要なプリント類はすべて大学から支給されるため、自身で用意する必要はなかった。また、週に一度学校行事があり、動物園や植物園、海や湖、丘といった自然散策、シドニー大学や博物館といった観光地に行く機会があった。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

放課後には、クラブ活動が行われており「Conversion Club」という現地の学生と留学生がクイズ大会や折り紙、カードゲームを通じて交流できる活動に参加していた。また、バレーボールやバスケットボールを通じて現地の学生との交流を深めていた。

週末には、ホストファミリーとシドニーにある Fish Market で海鮮を食べに行ったり、ビーチのそばに

あるカフェへ行ったりした。またホストファミリーが各々、サッカー、ラグビー、ネットボールのクラブに所属していたため観戦しに行った。また、友人とシドニーへ買い物に行ったり、クラスメイト皆でBBQをしたりした。

[4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

Wollongong Central というショッピングセンターを昼食や買い物目的として利用していた。また、大学の食堂や体育館等も頻繁に利用していた。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋 1人で使用

様子：ホームステイであり、ホームステイ先での滞在は1人であった。毎日、18時頃には帰宅し家族そろって食卓を囲んでいた。ホストファミリーとは互いにその日何をしたのか、昼食は何を食べたか、何を学んだか、といった話題でコミュニケーションをとり、週末には食後に映画を見たり、クッキーを作ったりした。お風呂時間、洗濯に関するルールは私がお世話になったホームステイ先では特になく、自身専用のバスタブとシャワールームを利用していた。また、ホストファミリーは日本食が好きであったため、日本米をはじめ、味噌汁や寿司が食卓に並びこともあった。また、私自身が、お好み焼きを振舞うなど互いの食文化に触れる良い機会となった。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

オーストラリアの文化や先住民族の歴史に触れることができたこと。また、ホストファミリーとシドニーに行ったことや日本とオーストラリアの違いについて互いに教え合い交流ができたこと。そして、現地の大学生との交流を通じて、共にご飯や買い物に行くなど国境を越えた交流を経験できたこと。

● 苦労したこと：

最初のころは、耳が慣れず聞き取ることが難しかった。また、伝えたいことがあってもいざ話そうと思うと文法が頭の中で思い浮かばず、焦ってしまっていた。しかし、先生や現地の友達がとても親切であったため、理解しようと努力してくれたり、わかりやすく言い換えてくれたりしてくれた。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

語学力は圧倒的に向上したと思う。授業中は、日本語で話すことが禁止されていたため、疑問に思ったことや意見をすべて自分の中で英語に変換して伝えなければならなかったから。また、初めは聞き取れなくても帰国するころには、聞き取ることもでき、日常会話レベルであれば理解することも話すこともできるようになった。そして、実際にバス停が同じであった女性やバスの運転手、観光客とコミュニケーションをとることができた時に自身の語学力の成長を実感した。

2) 専門知識の向上：

オーストラリアの文化や動植物、アボリジニの歴史や文化についての知識も向上したと考える。授業を通じて、オーストラリアのスラングや日常会話で使うことができるフレーズを学ぶことができたため、知識を身に付けることができた。

3) 自己成長など：

行動力が身についたと感じる。最初のころは自身の語学力に不安を抱き、話しかけることに抵抗があったが、話しかけた際に真剣に聞き取ろうとしてくれる現地の親切な方々のおかげで、話しかけることに抵抗がなくなった。以降は自信がつき、放課後に1人で買い物に行ったり散歩したりして現地の方とのコミュニケーションを通じて語学力向上を目指した。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学に行く以前は多くの不安を抱えるかもしれませんが、いざ行ってみると現地の方々はとても親切で手を差し伸べてくれます！また、日本人同士の交流もちろん楽しいですが、現地の学生との交流は貴重であり、あまりない経験なのでぜひ、放課後に開催されているクラブ活動に参加してみてください。

語学力はもちろん日本とは異なる文化への気づき、自己成長にもつながります。
少しでも留学に興味があるのであれば、行くことをお勧めします！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	850,000
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	0
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費・ホームステイ代など)	0
4	教材費		0
5	保険代		9,710
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		50,000
7	個人的な買い物		15,000
8	その他 (ESIM データ無制限 ,ETA)		15,000
9	留学に関する費用 (1 から 8 の合計)		939,710
10	受給した奨学金(奨学金名：)		0
11	留学に関する費用総額 (上記 9 から 10 を引いた額)		939,710

